

地域経済の再生と中小企業

小川 暹

1 産業振興の地域協議

本日は、お忙しい中、国際経営フォーラムにご出席頂き、大変ありがとうございます。今年度の国際経営フォーラムは、神奈川大学国際経営研究所と「湘南地域産業振興協議会」との共同開催でございます。神奈川大学は皆さんよくご存知のことと思いますが、「湘南地域産業振興協議会」はあまり聞きなれない名称かと思しますので、こちらを少しPRさせていただきます。

同協議会は、湘南地域の人材、資源と特色を活かして、創造性と活力ある産業の元気づくりを目指して活動しております。協議会のメンバーは平塚市や藤沢市など8つの市町と商工会議所、産学公の連携を進めている企業と大学、それに県の商工機関等でございます。具体的な活動としては、企業の経営革新や創業に対する経営指導や経営相談、それからこのような講演会やセミナーの開催などを行っております。

2 中小企業の再生と地域

さて、国際経営フォーラムですが、昨年は「地域の時代とビジネス革新」というテーマでした。これから地域と共生して事業展開して行こうという企業が、地域の中で求められる新たな役割について議論しました。そこでは、地域に根ざし、規模、業種に関係なく、地域とのコラボレーション、地域との協調なしには生き残れないという仮説を検証し、関係者に反響を呼びました。今回は、その成果を踏まえて、また、このテーマを引き継いで「地域経済の再生と中小企業」というテーマを設定しました。

わが国の経済につきましては、今は明るい兆しが見えていると報じられています。景気が長期低迷を脱しつつある回復基調の中での踊り場にあると言えます。しかし、一方では、輸出の低減、IT産業の低迷、個人消費の鈍化など、結果として足取りはまだ重いといわれています。

この状況の中で、ビジネスの先端で活躍している企業家の皆様には、将来に対する不透明感や不安感が非常に多いと思いますが、こういった時期こそ、神奈川の素晴らしい地域の活力を思い起こせたらいいかなと思います。私達の地元神奈川には、日本の近代工業をずっとリードしてきたという先進性があります。工業技術立県として、蓄積してきた高い技術力があります。そして、第3に進取の気風に富んだ創造的な県民性という底力があります。地域経済の再生において、このような神奈川県の良い地域力を結集することが大事だと思います。

本日は、これから地域経済の再生と中小企業の役割についてお二人の先生の基調講演をお聴きすることと致します。千葉商科大学の藤江俊彦教授からは、地域経済の再生における中小企業の革新と役割に関して、大学人の代表として思考のあり方を教えて頂きたいと願っております。また、株式会社がんこ茶家の山岸英明社長からは、地域社会における中小企業の再生と勝利の方程式について、企業人の代表としてその経験の蒸留を学ばせて頂ければと願っております。

中小企業のイノベーション、新規参入、中小企業の成長可能性などについて、また、地域の活性化において中小企業の役割とは何かについて、会場の皆様とともに考えたいと思います。